
専門分野 I

各看護学及び在宅看護論の基盤となる基礎的理論や基礎的技術を学ぶ

授業科目	看護倫理	講師名	専任教員	単位数	1単位
				時間数	15時間
				年次 学期	3年次 前期
学習目標	1. 人間としての在り方、生き方について理解し、人間を尊重する態度を身に付ける。 2. 看護者として倫理に基づく行動がとれるための意思決定能力を養う。				
回数	主題	学習内容および方法・演習項目		授業形態	
1回	医療における倫理とは	医療職者の社会的役割と行動規範		講義	
2回 3回	患者の権利と擁護 組織における倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォームドコンセントと倫理 ・人生の最終段階における医療と倫理 ・意思決定支援と倫理 (代理意思決定の支援・高齢者の意思決定支援・子どもの意思決定支援) ・安全確保と倫理 ・個人情報と倫理 ・多職種連携と倫理 ・倫理委員会の組織化 ・研究における倫理 ・治験における倫理 		講義 (VOD)	
4回	看護倫理とは	看護倫理とは 看護倫理のアプローチ 倫理原則 看護者の基本的責務		講義	
5回 6回 7回	看護現場で生じやすい 倫理上の問題①②③	事例検討		講義 (VOD)	
8回	試験				
評価方法	筆記試験				
テキスト 参考書等	テキスト：系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院 参考書：適宜提示する				
備考					

授業科目	看護研究	講師名	非常勤講師	単位数	1 単位
				時間数	4/15 時間
				年次 学期	2 年次 前/後期
学習目標	1. 看護研究の進め方・まとめ方 看護研究の目的と Evidence の必要性を理解し、研究の進め方、発表の方法を習得する 2. 看護研究の調べ方 文献検索の目的を理解し、データベースによる検索方法を習得する				
回数	主題	学習内容および方法			授業形態
1 回	1.看護研究の進め方・まとめ方	1)看護研究の目的と Evidence の必要性 2)看護研究と看護ケア 3)研究テーマを探す, 研究テーマの型, PECO&PICO 4)研究成果を発表する意義, 発表の方法 5)PowerPoint の使用方法 6)Word、Excel で PowerPoint の原稿を作る。 7)発表のポイント			講義
2 回	2.看護研究の調べ方	1)文献探しの基礎知識 2)文献とは, 一次文献と二次文献 3)文献検索の方法, 文献探しの流れ 4)データベース検索, シソーラスと論理検索 5)CiNii, 医中誌 WEB, PubMed 6) 医中誌 WEB デモ版の使い方 7)課題1 「インフルエンザの予防, 特にタミフルを投与した場合について」 8)課題2 「ある女性患者から「豆腐を食べると乳がんが予防できるって噂ですけど, 本当ですか」と聞かれたが, 女性の乳がんに対して, 実際にそのような効果があるのだろうか?豆腐が効くのならば, 味噌や大豆製品全般に関しても言えるのだろうか?」 以上を医中誌 WEB デモ版で検索し, 課題提出フォーマットを使用してファイルを提出する。			
評価方法	講義中に行う演習問題の成績, 出欠状況, 受講態度にもとづき総合的に評価を行う。				
テキスト 参考書等	テキスト:プリントを配布する。 参考書:看護研究なんかこわくない(第2版)/田久浩志, 岩本晋著/医学書院				
備考	注意:講義はパソコン教室で行う。				

授業科目	看護研究	講師名	専任教員	単位数	1 単位
				時間数	11/15 時間
				年次 学期	2 年次 前/後期
学習目標	看護研究の意義や必要性を学び、研究方法の基礎を理解できる。				
回数	主題	学習内容および方法			授業形態
1 回	1. 研究の意義・必要性	1) 研究の意義・必要性・重要性 2) 研究の条件 3) 看護理論と看護研究 4) 看護研究における倫理的配慮			講義
2 回	2. 研究の種類・研究の方法	1) 研究の種類と方法 2) 研究過程 3) 研究計画書の必要性和書き方 4) 研究論文の種類と構成 5) 抄録の作成と発表方法			講義 (VOD)
3 回	3. 看護研究の実際	1) 看護研究発表会の聴講 千葉県看護学生研究発表会 または、3年生のケーススタディ発表聴講			研究発表会の 参加
4 回	4. 文献の活用	1) 文献の意義、文献の探索法 2) 文献の読み方 3) 整理の仕方 4) 文献クリティークとは			講義 (VOD)
5 回	5. 文献の活用	1) 文献クリティークの実際			演習 (VOD)
6 回	試験				
評価方法	筆記試験				
テキスト 参考書等	系統看護学講座 看護研究 医学書院 新版 看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 照林社				
備考	・データ集計、プレゼンテーションについては塩森講師が担当する。				

授業科目	看護研究演習	講師名	専任教員	単位数	1 単位
				時間数	15 時間
				年次 学期	3 年次 前/後期
学習目標	看護実践の意味付けができ、ケーススタディとしてまとめることができる				
回数	主題	学習内容および方法			授業形態
1 回	ケーススタディの意義	1) ケーススタディとは 2) ケーススタディの意義			講義
2 回	ケーススタディの方法	1) ケーススタディの構成要素 2) ケーススタディの方法、計画 3) 倫理的配慮			講義 (VOD)
3 回	ケーススタディの実際	1) ケーススタディ計画書 2) 文献検索 3) ケーススタディの作成			演習
4～6 回	ケーススタディの実際	1) 指導教員より指導を受け、ケーススタディの作成 2) 抄録作成 3) 発表用スライドの作成			演習
7～8 回	ケーススタディの発表	プレゼンテーションの技術を用いたケーススタディの発表			発表
評価方法	レポート				
テキスト 参考書等	系統看護学講座 看護研究 医学書院 新版 看護学生のためのわかりやすいケーススタディの進め方 照林社				
備考					